

祝

日本遺産認定 記念講座

四〇〇年の歴史の扉を開ける旅

～石から読み解く中世・近世のまちづくり

越前・福井



JAPAN HERITAGE
日本遺産

様々な形に姿を変えて
時代を越えてきた石
その共生の歴史や文化を知ろう

勝山公民館

せいき塾

太古の昔より、人々は石とともに歴史を歩んできました。

山から切り出され、目の前に立ちはだかる巨石の壁

整然と敷き詰められた自然石の苔むした石畳、そして

勝山城下町と

七里壁を歩く

屋敷を支える無数の礎石や石垣。まちづくりに使われた石は
当時のまちの姿、武士や庶民の暮らし、人々の切なる想いなど
今を生きる私たちに語りかけます。



しちりかべ
七里壁

勝山城下町を横断する九頭竜川の河岸段丘。高さ5～6mの崖を覆う壮観な石垣がある。江戸時代、崖上には勝山城や武家屋敷、崖下には町家や寺院があり、身分による境界となっていた。



きゅうりゅうがやまじょうが まちなみかいせん
旧 勝山城下の街並み景観

七里壁の崖下にある勝山城下町には、現在も重厚な造りの商家が残る。平泉寺が全山焼亡した後大きく発展し、この地域の新しい中心地となった。

10月26日

土

9時30分～11時30分

場所 教育会館 公民館第1会議室

案内人 生涯学習・スポーツ課 阿部 来

文化財保護室 学芸員 藤本 康司

日本遺産に認定された地域の特色ある魅力を再認識し、まち中で見られる石を見に行きましよう。
お申し込みは 勝山公民館八八〇八〇〇へ
お願いいたします。

